

# 施策を問う

# ここが聞きたい

## 給食費未納に対する改善策は

答 危機感を持って対応すべき



上原喜代子 議員

**問** 学校給食賄費は給食費が財源である。しかし、平成26年度予算では1千50万円が一般財源からも計上されている。要因は何か。

**教育長** 米飯と牛乳の価格上昇がある。また、消費税3%増もある。給食費のみでは補いきれないため、給食賄費に上乘せし計上した。

**問** 町民税や法人税等は徴収率が好調である。それに対して、給食費の徴収率は下がっているのはなぜか。一般財源からの補てんはどうなっているか。

**教育長** 「徴収率を上げる取り組みを」と、町長からも言われている。これまでの一般財源からの補てんは1千万円弱となっている。

**問** 給食費未納に対する学校給食費未納問題検討委員会は本町にはあるか。

**教育長** 学校給食費未納検討委員会等の開催はなく、給食の管理運営委員会がある。

給食の内容やメニュー等の話し合いをしている。徴収率の観点で話し合っていない。徴収率の対策は主管課内の会議で留められている。

**問** 給食費を負担する保護者や一般財源を投入する納税者に対し、どう説明をするのか。

**教育長** 税と比べて制度的に違いはあるが、税の収納率とは離れすぎていることは真摯に受け止める。危機感を持って対応すべきと考えている。給食費徴収の努力を町民に示してから、給食費の値上げを議論すべきと考える。

**町長** 家庭の状況を把握し救える工夫をしたい。教育委員会と連携し、第三者を含めた検討委員会の設置を検討する。

## 観光資源としての古民家の活用を

**問** 本部にある古民家「謝名家」を子どもたちの遠足コースに活用してはどうか。子どもたちが本町の観光大使として育つよう古民家を修復できないか。

**経済建設部長** 謝名家を重要な観光資源と位置付けしている。一括交付金を活用し、早い時期に整備を進めたい。



本部にある古民家「謝名家」